

島根県

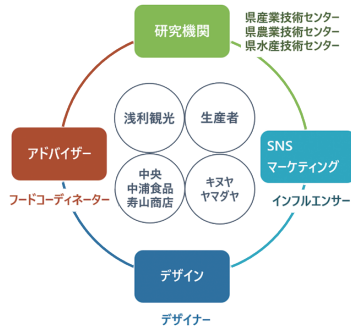
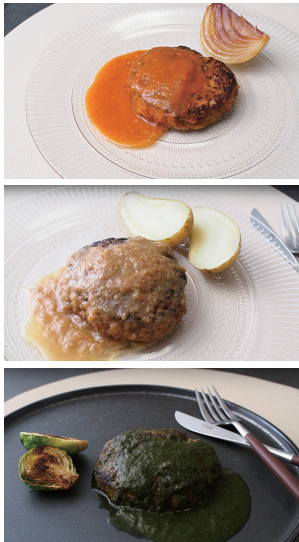
事業所管：島根県農林水産部産地支援課
地域事務局：株式会社ナレッジリンクス

LFP パートナー数

47社・団体
(2023.3 現在)

● ローリングストック商品の開発により条件不利地の課題克服

農地の8割が中山間地域で小規模産地が多く、高齢化も進んでいる。高速道路網も未完成で規模の競争が不利なため、県 GAP や有機農産物を活用したローリングストック商品により産地の維持に寄与する産業を育成する。



県産野菜をソースにしたハンバーグ3種。

新たなビジネスの価値

- 健康志向の消費者ニーズに応える安全・安心な県 GAP 認証農産物や有機農産物を使用。
- ふるさとを感じさせる味付けで、災害時も日常も利用できるローリングストック商品。



日頃の生活の中で少し多めにストックする「ローリングストック」の食品を島根のおいしいものを集めてご提案する島根の「おいしい」に携わる人と人をつないで循環する食の新スタイルつくっていきます。そして「ふるさとの味」を消費者、生産者次世代の子ども達へつないでいきます。

プラットフォームの体制

- 県 GAP や有機農産物の生産農家を中心に、地域事務局のネットワークを活かして、食品加工業者、小売業者、物流業者、観光業者などに参加を呼びかけ。

農業者、食品加工事業者、流通業者、小売業者、飲食業者、物流業者、観光事業者、金融機関、ソフトウェア会社、フードコーディネーター、県研究機関など。

新しい取組・仕組みづくり

- 素材のままでは消費量に限界のある生鮮素材を県内で加工商品にすることで、生産者の収入増に寄与。
- 系統出荷では規格外となり、端材扱いだった生鮮素材についても、新たに取り扱いルートを開発したことで、生産者の収入増に寄与。

ビジネス創出のプロセス

- 3グループに分かれビジネスプランを作成。プレゼンテーションの結果、「美味しまね認証・有機農産物を活用した多機能レトルトフードプロジェクト」に決定。参画したい事業者を改めて募集し、間接補助事業体を組成。
- 採択に至らなかった「LFP ポータルサイト構築と観光農業のビジネス化」、「しまねのワンパク！タンパク！大作戦」も検討を継続し、事業化の可能性をブラッシュアップ。
- 間接補助事業以外に観光農業に関する新たなビジネスを1つ創出した。



(右) テストマーケティングの様子。
(左) 島根県 GAP 認証 (美味しまね認証) のマーク。